

評価結果概要表

作成日 平成 21 年 11 月 11 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0570508523号
法人名	社会福祉法人 本荘久寿会
事業所名	グループホーム望海の家
所在地	由利本荘市浜三川字小山口20 (電話) 0184-28-4877
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成21年10月5日

【情報提供票より】 (平成21年9月15日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 15 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	14 人 (常勤 14 人 非常勤 常勤換算 14 人)

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋建て 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	25,500 円	
敷金	□有()円 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	□有()円 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	□有 / □無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.6 歳	最低 77 歳	最高 99 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	由利組合病院
---------	--------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

「その人らしい人生」「安心と尊厳と潤いのある生活」「寄り添ったケア」の実現を事業所の理念として掲げ、事業所の年度目標や各ユニットの目標も定め、運営及びケアの方針を明確にしている。
職員はすべて正規雇用とし、理念及び目標の実現をめざし向上心を持ってケアにあたり、毎月の職員勉強会では実践に役立つテーマを自由に設定し、担当職員が講師役を務めながら研鑽に努めており、サービスの向上に直結している。
また、各ユニットに常勤の看護師を配属しているため、医療面での支援体制が充実しており、栄養士の指導なども含めて母体老人保健施設と連携しながら利用者の安心・安全の確保に努めている。
事業所内は風通しや採光に配慮した明るく広い空間で、屋内の庭園には池があり鯉も泳いでおり、眺めを楽しみながら利用者の活動意欲を刺激する環境をつくっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題はないが、利用者に関わる時間を増やすための工夫や、身体機能低下を予防する取り組みなど、職員の気づきや利用者及び家族の要望から課題を捉え改善につなげている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を日々の実践を振り返る機会と捉え、ユニット毎に職員が話し合い、管理者が事業所の自己評価として取りまとめ、全体に周知している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では利用者の状況や職員研修など事業所の活動内容を報告し、行事の開催時期や会議の進行方法を変更するなど、意見や要望を受けて具体的な取り組みに反映させている。 今後は、定期的な開催とともに機能の充実を図り、効果的な事業所運営及びサービス提供につなげてほしい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	玄関等に意見箱を設置し、家族の面会時には職員から声をかけ、家族の意向や要望の把握に努めており、食事の量や居室の掃除、定期的な運動などの要望に対しては速やかに職員間で検討し、具体的な改善につなげている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	夏祭りやバーベキューなど事業所の行事へ近隣住民の参加を呼びかけ、事業所の避難訓練への参加や協力を得ているが、地理的な条件もあり地域活動に参加する機会が少ないため、今後は町内会へ加入するなど連携を図り、地域行事への参加を通じて地域との関わりを深めてほしい。

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念	事業所独自の理念を作っている。			「その人らしい人生」「安心と尊厳と潤いのある生活」「寄り添ったケア」の実現を事業所の理念に掲げている。 また、職員会議で事業所の年度目標を決め、それぞれのユニットの目標も定め、事業所及びケアの方針を明確にして家族にも伝えている。	○	地域密着型サービスとして利用者と地域との関わり方を職員間で検討し、それを理念に盛り込むことで事業所の役割や方針を再認識してほしい。
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作っている。					
2	2	○理念の共有と日々の取り組み	理念を共有するため、各ユニットや職員玄関の見えやすい位置に理念を掲げ、実践に向けて日々取り組んでいる。			理念及び目標を各ユニット内や玄関に掲示し、日常的に確認しながら実現に向けて取り組んでいる。	○	職員会議などで目標に対する到達状況を確認し、定期的に振り返り、評価しながら理念及び目標の意識化に向けた取り組むことを期待したい。
		運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有するため、各ユニットや職員玄関の見えやすい位置に理念を掲げ、実践に向けて日々取り組んでいる。					
3	3	○家族や地域への理念の浸透	家族には、入居時に説明をし、新年度には理念と各ユニットの毎年の目標を送付しており、理解してもらえるよう取り組んでいる。運営推進会議で理念と目標を伝えており、町内会長さんを通し、地域の方たちにも理解してもらえるよう努めている。					
		事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には、入居時に説明をし、新年度には理念と各ユニットの毎年の目標を送付しており、理解してもらえるよう取り組んでいる。運営推進会議で理念と目標を伝えており、町内会長さんを通し、地域の方たちにも理解してもらえるよう努めている。					
2. 地域との支えあい								
4	4	○隣近所とのつきあい	入居者が散歩に出たときに、近所の方から声をかけていただくことがある。立ち寄りやすい雰囲気づくりはしているが、近隣の民家が少なく、日中は留守のことも多いため、ほとんど機会がない状態である。	○	行事への呼びかけを頻回に行う等、地域の方たちと交流する機会を増やしていきたい。			
		管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者が散歩に出たときに、近所の方から声をかけていただくことがある。立ち寄りやすい雰囲気づくりはしているが、近隣の民家が少なく、日中は留守のことも多いため、ほとんど機会がない状態である。	○	行事への呼びかけを頻回に行う等、地域の方たちと交流する機会を増やしていきたい。			
3	5	○地域とのつきあい	ホームの行事への参加の呼びかけなど地域の方と交流する機会をもてるよう努めているが、地域活動への参加には至っていない。家族の協力も得て地域に出向く事ができるよう支援している。	○	地域の方たちと交流する機会を増やし、地域活動に参加できるようにしていきたい。	夏祭りやバーベキューなどの際に地域の方々に参加を呼びかけ、事業所の避難訓練への参加や協力を得るなど、地域との関わりを大切にしている。	○	周囲に民家がない地理的な条件もあるが、町内会への加入や地域行事等への参加を通じ、積極的に地域とのつながりを深めてほしい。 また、広報等を地域に配布して事業所の実践をPRするなど、地域に開かれた事業所をめざして取り組むことを期待したい。
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方たちと交流する機会がほとんどない状態であり、ホームの行事への参加の呼びかけなど地域の方と交流する機会をもてるよう努めている。家族の協力を得て、地域に出向くように支援している。	○	地域の方たちと交流する機会を増やし、地域活動に参加できるようにしていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を開催し、地域の方たちの意見等を聞き、地域に貢献できるよう努めている。					
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の実施の異議を理解し、評価結果をサービス改善に活かす体制を整えている。			ユニット毎に職員間で話し合いながら自己評価を行い、管理者が事業所の評価としてまとめている。 また、ユニット毎や事業所の目標を掲げ、評価結果を職員間で共有しながら改善に向けた具体策を検討している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議で利用者やサービスの状況、評価への取り組み状況について報告をしている。話し合いにおいて意見や提案があった場合はサービスの向上に活かしていくようにしている。			運営推進会議では事業所の実践を報告し、質問や意見を受けながら双方向の会議となるよう配慮しており、行事や会議の進め方などにも意見や要望を反映している。	○	地域と連携し、開かれた事業所として展開していくためにも、定期的に会議を開催し、些細なことでも提起して意見を求めるなど、会議の充実とともに効果的な事業所運営及びサービス提供につなげてほしい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	認定調査時の依頼等、市町村担当者と行き来する機会をつくっているが、あまり行き来する機会がない。	○	市町村担当者とのかかわりを増やし、サービスの向上に取り組んでいきたい。	認定調査時など必要に応じて行政担当者と連絡をとっており、何かあれば相談できるよう関係を築いている。	○	行政担当者や地域包括支援センターとのかかわりが十分とはいえないため、広報を届けて理解を深めるなど、事業所からの積極的な働きかけを期待したい。
	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度について、まだ十分に浸透していない。必要な方が活用できるよう支援する体制は整えている。	○	職員が理解できるよう勉強会を実施し、学ぶ機会を設けたい。			
			権利擁護や成年後見制度について、まだ十分に浸透していない。必要な方が活用できるよう支援する体制は整えている。	○	職員が理解できるよう勉強会を実施し、学ぶ機会を設けたい。			
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について勉強会で学んでおり、虐待の防止に努めている。					
			高齢者虐待防止関連法について勉強会で学んでおり、虐待の防止に努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
4. 理念を実践するための体制								
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族に十分に説明を行い、不安や疑問の解消に努めている。						
		利用者や家族に十分に説明を行い、不安や疑問の解消に努めている。						
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に入居者と会話し、話を聴くことで、不満や苦情を把握しており、意見の反映に努めている。						
		目安箱の設置や日常的に入居者と会話し、話を聴くことで、不満や苦情を把握しており、意見の反映に努めている。						
7 14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月写真つきのホーム便りを発行し、入居者の暮らしぶりが把握出来るようにしている。健康状態や金銭管理、職員の異動等についても定期的に連絡しており、個々にあわせ電話連絡をしたりし、報告している。					「望海の家便り」を毎月発行し、利用者の写真を交えながら行事や日常の状況を報告している。 また、利用者の健康状態や薬の変更など個別の状況を記した手紙を添え、生活の様子を具体的に伝えている。 さらには、利用者一人ひとりの日常を写真で綴った手作りのアルバムを作成し、面会時に家族が自由に見れるよう配慮している。	
		毎月写真つきのホーム便りを発行し、入居者の暮らしぶりが把握出来るようにしている。面会時に健康状態等の本人の状態を報告するなど、個々にあわせ電話連絡をしたりし、報告している。						
8 15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見等があった場合は、職員間で共有し、運営に反映できるように努めている。					玄関等に意見箱を設置し、家族の面会時には意見や要望の把握に努めており、法人として第三者委員会を設置して苦情相談体制を確保している。 また、意見や要望があれば速やかに職員間で検討する場を設け、具体的な改善につなげている。	○ 第三者委員会を設置しているが、公正・中立性に欠けると捉えられる可能性があることから、第三者委員会を複数配置するなど、客観性の確保に向けて検討してほしい。
		家族の意見等があった場合は、職員間で共有し、運営に反映できるように努めている。						
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議をおこなっており、話し合いの場を設けている。職員の意見や提案は反映するよう努めている。						
		定期的に会議をおこなっており、話し合いの場を設けている。職員の意見や提案は反映するよう努めている。						
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	要望に対し柔軟な対応ができるよう勤務調整ができる体制を整えている。						
		要望に対し柔軟な対応ができるよう勤務調整ができる体制を整えている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者が馴染みの職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最低限に抑えており、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている。			法人内及びユニット間の異動は最小限に抑えており、異動時には事前に利用者の状況や関わり方、留意点等を十分に申し送り、利用者の精神的な負担軽減に努めている。 また、新任職員は1か月間経験のある職員との2人体制で利用者に関わり、単独で夜勤を行わないなど配慮している。		
5. 人材の育成と支援								
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の計画をたて、研修を受ける機会の確保に努めている。また、定期的に勉強会を行っており、学習できる機会を設けている。	○	新人職員への研修を計画するなどし、人材育成に努めていきたい。	年間研修計画に基づき計画的な研修の機会を確保し、研修受講後の復命書を各ユニットで回覧しながら情報の共有に努めている。 また、職員が毎月担当者となってテーマを選定し、講師役を担いながら職員同士の勉強会も行っている。	○	すべての職員が研修に参加し、それぞれの職種や段階に応じてスキルアップできるよう、職員一人ひとりの目標や希望を反映し、より実効性のある計画づくりを期待したい。
		研修の計画をたて、研修を受ける機会の確保に努めている。また、定期的に勉強会を行っており、学習できる機会を設けている。	○	新人職員への研修を計画するなどし、人材育成に努めていきたい。				
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡協議会へ参加し、他事業所と交流する機会を設けている。勉強会や相互訪問等の活動を行い、サービスの質の向上に努めている。		9月後半・10月に相互訪問を予定している。	県及び圏域の連絡協議会に加入し、同地域の事業所と交流する機会を設けているほか、今年度からは県内の他事業所と相互訪問による職員交流も実施しており、他事業所の実践から視野の拡大や気づきにつなげている。		
		連絡協議会へ参加し、他事業所と交流する機会を設けている。勉強会や相互訪問等の活動を行い、サービスの質の向上に努めている。		9月後半・10月に相互訪問を予定している。				
	21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員相互の親睦、悩みの聴取など、職員の業務上の悩みやストレスを解消するための工夫に努めている。					
		職員相互の親睦、悩みの聴取など、職員の業務上の悩みやストレスを解消するための工夫に努めている。						
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の研修の参加や、勤務状況を把握しており、向上心を持って働けるように努めている。					
		職員個々の研修の参加や、勤務状況を把握しており、向上心を持って働けるように努めている。						
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
	23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に調査に伺い、不安なこと・困っていること等を本人から聴き、不安の解消に努めている。					
		入居前に調査に伺い、不安なこと・困っていること等を本人から聴き、不安の解消に努めている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時に困っていること等をしっかり聴き、利用に至るまで、家族と十分に話しをするようにしている。						
		相談時に困っていること等をしっかり聴き、利用に至るまで、家族と十分に話しをするようにしている。						
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時にしっかり話を伺い、グループホームのサービスの内容を伝えと共に、その方の状況にあったサービスの情報提供を行っている。						
		相談時にしっかり話を伺い、グループホームのサービスの内容を伝えと共に、その方の状況にあったサービスの情報提供を行っている。						
12 26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人が納得した上で安心した生活を送っていただけるよう、事前に見学に来てもらう等、工夫している。見学が難しい場合は、家族に話しを伺い本人の性格等を踏まえ、職員が仲介役となり場の雰囲気に馴染めるように努めている。			事前の事業所見学や全額個人負担での体験利用など、事業所の雰囲気や生活の様子を体感できるよう配慮している。 また、家族からの情報で本人との関わり方を検討したり、職員が仲介役となって他利用者との関係づくりを支援している。			
		本人が納得した上で安心した生活を送っていただけるよう、事前に見学に来てもらう等、工夫している。見学が難しい場合は、家族に話しを伺い本人の性格等を踏まえ、職員が仲介役となり場の雰囲気に馴染めるように努めている。						
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援								
13 27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者から昔のことを教えていただいたり、生活の知恵を学んだりし、一緒に過ごすことで、お互いに支えあい、喜怒哀楽を共にしている。			料理の味付けや調理方法など、家事全般に関して利用者から学ぶことが多く、職員は日常の様々な場面で利用者の経験を取り入れており、互いに励まし、支え合いながら生活している。			
		同じ作業をしたり、一緒に行う事で、本人から学んだり支え合う関係が気付いている。						
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に簡単な掃除や衣類の整理など家族と一緒に出来ることは家族と共に行っていただいている。家族への情報提供を密にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。			○ 帰宅願望の強い方には家族にも協力していただき、一時帰宅ができるように支援していきたい。			
		家族も参加できる行事を行ったり、家族と一緒に支援していく体制を整えている。						
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時に入居前の生活状況を聞くなどし、これまでの本人と家族との関係の理解に努めている。よりよい関係を築いていけるように家族への連絡を密にし、本人と家族の関係が薄れないように努めている。						
		面会時に入居前の生活状況を聞くなどし、これまでの本人と家族との関係の理解に努めている。面会時はゆっくりと会話出来るようにしており、本人と家族の関係が薄れないように努めている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの生活や馴染みの人との関係を大切にしながら支援している。		頻回ではないが、知り合いの方の面会や手紙のやり取りがある。				
		これまでの生活や馴染みの人との関係を大切にしながら支援している。		頻回ではないが、知り合いの方の面会が時々あり、ゆっくりと会話ができるようにしている。				
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係を把握しており、孤立しがちな入居者には職員が仲介に入り、対応している。入居者同士が係わり合い、支えあえるように努めている。						
		入居者の性格を理解し、孤立しがちな入居者には職員が仲介に入り、対応している。入居者同士が係わり合い、支えあえるように努めている。						
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いができるよう体制を整えている。						
		サービス利用が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いができるよう体制を整えている。						
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
1. 一人ひとりの把握								
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者との会話や行動から、思いや希望の把握に努めている。困難時は本人本位に検討している。				日常の関わりや会話から利用者の思いや意向を把握するよう努め、納得していない方には何度も話を聞いて受け止めている。 また、利用者が管理者の部屋を訪れ、相談や悩み事を聞くことで利用者の潜在的な思いを感じ取るよう努めている。	
			入居者との会話や行動から、思いや希望の把握に努めており、一人ひとりの意見をできるだけ尊重している。					
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴や生活環境や生活環境、生きがいについて家族より情報収集をおこなっている。また、入居前にサービス利用していた事業所より情報収集し、これまでの暮らしの把握に努めている。	○	これまでの生活環境や生きがいに沿った支援を行っていきたい。				
		入居時に生活歴や生活環境や生きがいについて家族より情報収集をおこなっている。また、入居前にサービス利用していた事業所より情報収集し、これまでの暮らしの把握に努めている。	○	これまでの生活環境や生きがいにそって、個別支援等の計画をしていきたい。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
35		○暮らしの現状の把握	ユニット会議で毎月入居者の状況について話し合いをおこなっており、生活状況や心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。その都度、生活状況で気づいたことがあれば、話し合いを行い把握するようにしている。					
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送りノートや日々記録にて生活状況や心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。その都度、生活状況で気づいたことがあれば、話し合いを行い把握するようにしている。					
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画	入居者や家族とも話し合いながら、それぞれの意見やアイデアを反映し作成している。		家族の面会時に意見をきいたり、入居者との何気ない会話を反映し、作成している。	計画作成担当者が家族の意向や利用者との会話などから意向を確認し、職員間で意見交換しながら介護計画を作成している。 また、計画には利用者が辛いと思うことや希望する内容から実現可能な目標を掲げ、利用者の不安を解消できるよう配慮している。		
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者や家族とも話し合いながら、それぞれの意見やアイデアを反映し作成している。		家族の面会時に意見をきいたり、入居者との何気ない会話を反映し、作成している。			
16	37	○現状に即した介護計画の見直し	本人、家族、職員と話しあい、現状に合った計画を作成している。			6か月毎の定期的な見直しのほか、毎月のユニット会議で話し合われた利用者の変化や対応に基づき見直している。 また、新しい利用者は1か月で見直しており、事業所の生活に慣れるまで細やかな計画づくりに努めている。		
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人、家族、職員と話しあい、現状に合った計画を作成している。		毎月のユニット会議で入居者の変化や対応について話し合いを行っており、現状にあった介護計画を作成している。			
38		○個別の記録と実践への反映	個別に日々記録を記入し、日々の様子やケアの実践・結果、気づき等の情報を共有することで、実践や介護計画の見直しに活かしている。					
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々記録を記入し、日々の様子やケアの実践・結果、気づき等の情報を共有することで、実践や介護計画の見直しに活かしている。					
3. 多機能性を活かした柔軟な支援								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援	家族の状況や、要望に応じ、受診の送迎等、柔軟に対応するように努めている。			各ユニットに常勤の看護師を配属し、利用者の体調変化に速やかに対応できる体制があり、通院など柔軟に支援している。 また、併設母体施設の看護師や栄養士による協力も得られるため、状況に応じた柔軟な支援を可能にしている。		
		本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況や、要望に応じ、受診の送迎等、柔軟に対応するように努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	本人の意向や必要性に応じて民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力し支援出来るように体制は整えているが、なかなか機会がない状態である。	○	防災訓練時は地域の方の参加もあるが、なかなか機会がない現状であり、今後ボランティアの受け入れや地域との関わりを増やしていきたい。				
		本人の意向や必要性に応じて民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力し支援出来るように体制は整えているが、なかなか機会がない状態である。	○	防災訓練時は地域の方の参加もあるが、なかなか機会がない現状であり、今後ボランティアの受け入れや地域との関わりを増やしていきたい。				
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性を考慮し、他事業者との話し合いを行い、その方にあった他のサービスを利用することができるよう支援をしている。						
		本人の意向や必要性を考慮し、他事業者との話し合いを行い、その方にあった他のサービスを利用することができるよう支援をしている。						
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加してもらうことで、連絡体制を整えており、協働できるようにしている。						
		運営推進会議に参加してもらうことで、連絡体制を整えており、協働できるようにしている。						
18 43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前より通っている医療機関を利用し、かかりつけ医や、かかりつけ歯科医との関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している。		かかりつけ薬局がありいつでも相談することができる体制となっている。			利用者のかかりつけ医や歯科医との関係を継続できるよう支援しており、近くの薬局が事業所のかかりつけ薬局となっている。 また、利用者はほぼ毎日通院しており、看護師も常駐しているため医療面での支援体制は整っている。	
		入居前より通っている医療機関を利用し、かかりつけ医や、かかりつけ歯科医との関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している。		かかりつけ薬局がありいつでも相談することができる体制となっている。				
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	それぞれの主治医を持ち、定期的に通院し相談することで、関係を築きながら、診断や治療を受けられるようにしている。						
		それぞれの主治医を持ち、定期的に通院し相談することで、関係を築きながら、診断や治療を受けられるようにしている。						
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤の看護職員と連携しながら、日常の健康管理や、医療機関の支援をしている。						
		常勤の看護職員と連携しながら、日常の健康管理や、医療機関の支援をしている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	かかりつけの医療機関があり、連携に努めている。病院関係者との情報交換や相談を密にし、入院の際は出来るだけ早期に退院できるようにしている。						
		かかりつけの医療機関があり、連携に努めている。病院関係者との情報交換や相談を密にし、入院の際は出来るだけ早期に退院できるようにしている。						
19 47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における対応に係る指針を整備しており、重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から家族やかかりつけ医と話し合いを行い、方針を共有する体制を整えている。			常勤看護師や母体施設との連携、医療機関との協力体制もあり、重度化や看取りへの対応を可能にしている。 また、その場合は早い段階から家族やかかりつけ医と話し合い、職員間でも方針を共有している。			
		重度化した場合における対応に係る指針を整備しており、重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から家族やかかりつけ医と話し合いを行い、方針を共有する体制を整えている。						
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した場合における対応に係る指針を整備しており、かかりつけ医とともにチームとしての支援ができるよう体制を整えている。						
		重度化した場合における対応に係る指針を整備しており、かかりつけ医とともにチームとしての支援ができるよう体制を整えている。						
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族や関係者との十分な話し合いと情報交換を行い、入居者のダメージを最小限に食い止めるよう努めている。						
		家族や関係者との十分な話し合いと情報交換を行い、入居者のダメージを最小限に食い止めるよう努めている。						
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
1. その人らしい暮らしの支援								
(1) 一人ひとりの尊重								
20 50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを守るような言葉掛けや対応を心がけており、記録等の個人情報の取り扱いに留意している。			利用者一人ひとりの性格や特徴等を十分に理解し、排泄誘導時でも言葉を選びながら対応するよう心がけている。 また、利用者の前で他利用者の情報を話すことのないよう職員間で注意しているほか、記録等の個人情報は事務室内のキャビネットに保管し、個人名が特定されないようガラスに目隠しを施している。			
		プライバシーを守るような言葉掛けに注意して対応しており、記録等の個人情報の取り扱いに留意している。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意思を尊重した自立支援を心がけている。						
		本人の意思を尊重した自立支援を心がけている。						
21 52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、希望に沿って個別支援を計画するなどし、支援している。			利用者のペースや意向を大切に、食事の時間や場所なども一人ひとりに合わせ、入浴の時間帯も限定することなく個性のある支援に努めている。 また、頻りに散歩する方もおり、その日の体調や希望に沿って柔軟に対応している。			
		一人ひとりのペースを大切に、希望に沿って個別支援を計画するなどし、支援している。						
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援								
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容・美容は本人の望む店に行っており、その人らしい身だしなみ・おしゃれが出来るよう支援している。						
		昔から利用している美容院を利用し、その人らしい身だしなみ・おしゃれが出来るよう支援している。						
22 54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、食材を切ってもらったり、盛り付けをするなど、一緒に準備を行っている。また、一緒に食事や片付けも行っている。			食事の準備や後片付けを一緒に行い、箸や湯のみをそれぞれ準備し、外食により食事を楽めるよう工夫している。 また、遅めの食事や居室での食事など、時間や場所も制限はなく、糖尿病の方は同じユニットで食事を摂るよう配慮している。			
		一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備で出来る事は行っていただいている。一緒に食事をし、食後は片付けを行っていただいている。						
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	それぞれの嗜好物を把握しており、状況に合わせて楽しめるようにしている。		体調管理のため、お酒は日にちを決めて提供している。おなかが空いたときや、飲みたいものがあるときは提供できるようにしている。				
		それぞれの嗜好物を把握しており、状況に合わせて楽しめるようにしている。		嗜好物を売店で買ってきたり、家族が差し入れを持ってきてくれている。食事制限のある方に対して、できるだけ制限を感じないようにカロリーの低いものを提供するなど、工夫し、楽しめるようにしている。				
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、失敗を減らし、気持ちよく排泄できるよう努めている。		おむつを使用している方はおらず、一人ひとりにあつたパンツやパットを使用し、出来るだけトイレで排泄できるよう支援している。				
		一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、失敗を減らし、気持ちよく排泄できるよう努めている。		出来るだけトイレで排泄できるよう支援している。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援	個々の入浴時間の希望を取り入れ、入浴していただいている。		タイミングや健康状態に応じて、入浴を楽しんでもらっている。入浴日は決めておらず、希望にそって入浴できるようにしている。	利用者の体調や希望に応じて毎日でも入浴できる体制を整えており、入浴を拒む方には声かけ方法を工夫して促したり、清拭や足浴、下着の交換などで対応しながら清潔保持に努めている。 また、入浴に際しては同性介助に関して利用者の意思を確認のうえ支援している。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	個々の入浴時間の希望を取り入れ、入浴していただいている。		タイミングや健康状態に応じて、入浴を楽しんでもらっている。入浴日は決めておらず、希望にそって入浴できるようにしている。			
	58	○安眠や休息の支援	生活習慣を把握し、状況に応じて、休息できるよう支援している。					
		一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の生活習慣や状況に応じて休息できるよう支援している。	○	居室だけでなく、畳やソファでも安心して休めるように環境作りをしていきたい。			
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	一人ひとりの生活歴を把握し、洗濯物たたみや、食事の準備、絵を描くのが好きな方にはスケッチ等の支援をし、役割や楽しみのある生活ができるよう努めている。			食事の準備や片付け、洗濯物たたみなど畑づくりなどを手伝ってもらい、役割のある生活を支援している。 また、スケッチなどの趣味活動や低カロリーのビールを飲む方もおり、利用者の楽しみを意向に沿って取り入れている。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し、洗濯物たたみや、食事の準備など役割や楽しみのある生活ができるよう努めている。					
	60	○お金の所持や使うことの支援	本人の希望や力に応じてお小遣いを提供している。売店や、ドライブ等の外出時に自分で支払うことができるよう支援している。					
		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望や力に応じてお小遣いを提供している。売店や、ドライブ等の外出時に自分で支払うことができるよう支援している。					
25	61	○日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に応じ、外出できるよう支援している。		自由に外へ出かけられるようにしている。	毎日のように通院に出かけ、日常的に事業所の周辺を散歩するなど、利用者の心身の活性化につながるよう閉じこもらない生活に努めている。	○	事業所の周辺に商店などがなく、利用者が買い物やドライブの充実を望んでいるため、地域の移動販売を依頼したり、少人数での外出を工夫するなど、柔軟な対応を期待したい。
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望に応じ、外出できるよう支援している。	○	自由に散歩に出れるようにしているが、近くまでのドライブなどもっと希望を叶えられるようにしていきたい。			
	62	○普段行けない場所への外出支援	個別支援を計画し、外出できるようにしている。家族との外出の機会を作っている。					
		一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別支援を計画し、外出できるようにしている。家族との外出の機会を作っている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じ、電話をかけたり、手紙のやり取りができるように支援している。		隣施設の公衆電話や本人の携帯電話で自由に電話をしている。				
		本人の希望に応じ、電話をかけたり、手紙のやり取りができるように支援している。		隣施設の公衆電話で自由に電話をしている。				
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように、会話のできる場所の提供や、雰囲気作りをしている。						
		気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるようにしており、親しみやすい雰囲気作りをしている。						
(4) 安心と安全を支える支援								
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		身体拘束は行わず、できるだけ向精神薬を使用しないようにし、見守りを行う事で、入居者が自由に生き生きと暮らせるように支援している。				
		身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		身体拘束は行わず、徘徊等見守りをし、対応している。				
26 66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	日中は鍵をかけず、自由に出入りできるようにしている。		夜以外は鍵をかけないようにしている。	○		事業所の周辺には交通量の多い道路があり、過去に外出した利用者を近隣住民が連れて来たこともあるため、万が一を想定して町内会や近隣住民にも理解と協力を呼びかけ、地域全体で利用者を見守る仕組みづくりを構築してほしい。	
		日中は鍵をかけず、自由に出入りできるようにしている。		入居者の行動に対し十分な見守りを行っており、夜以外は鍵をかけないようにしている。				
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し、入居者の所在や様子を把握できるように職員同士声を掛け合い把握するよう努めている。外に行った入居者に対しては、職員が付き添い、安全に配慮している。		外に行ったことがわからなかったということが無いように、センサーやユニット玄関の入り口にベルを使用している。また、職員同士の声を掛け合い把握できるようにしている。				
		プライバシーに配慮し、入居者の所在や様子を把握できるように職員同士声を掛け合い把握するよう努めている。外に行った入居者に対しては、職員が付き添い、安全に配慮している。		外に行ったことがわからなかったということが無いように、センサーやユニット玄関の入り口にベルを使用している。居室で休んでも行動が把握出来るよう、歩行不安定の入居者にはコールマットを使用し、安全に配慮している。				
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状態に合わせて物品の保管、管理を行っている。		洗顔フォームや入れ歯洗浄剤など注意の必要な物品を入居者が使用する際は、一人ひとりの状態に応じて見守りを行っている。				
		入居者の状態に合わせて物品の保管、管理を行っている。		注意が必要な物品は入居者から見えない位置に置くようにし、一人ひとりの状態に応じて対応している。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員勉強会で事故防止のための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。						
		職員勉強会で事故防止のための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。						
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	職員勉強会で急変時や事故発生時の対応について訓練をし、学んでいる。						
		職員勉強会で急変時や事故発生時の対応について訓練をし、学んでいる。						
27 71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時にいつでも利用者が非難できるよう定期的に避難訓練を行っている。			年2回、母体施設と合同で日中と夜間を想定した避難訓練を実施し、近隣住民の参加も得られている。 また、消火器の使い方や誘導経路などの具体的な対応方法を定期的に訓練し、職員にも浸透させ非常時に備えている。	○	母体施設と合同で訓練を実施し、近隣住民も参加しているが、事業所間の連携方法や近隣住民の役割などが明確になっていないため、より実効性のある訓練の実施をめざして双方の役割や協力体制のあり方を再確認してほしい。	
		災害時にいつでも利用者が非難できるよう定期的に避難訓練を行っている。						
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時に予測されるリスクについて家族等に説明し、より良い暮らしが出来るように、対応策を話あっている。						
		家族の来所時や面会時などに状態や状況・起こりえるリスクについて、良く説明し家族の希望にそった対応をするようにしている。						
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、検温や血圧測定を行っており、体調の変化や異変の発見に努めている。気付いた際には、申し送りやノートを活用し、速やかに情報を共有し、対応している。						
		毎日、検温や血圧測定を行っており、体調の変化や異変の発見に努めている。気付いた際には、申し送りやノートを活用し、速やかに情報を共有し、対応している。						
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量が記載されているものをファイルに保管し、すぐに確認できるようにしており、職員が理解できるようにしており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。			お薬カードで、服薬中の薬の内容がすぐに分かるようにしており、新しく処方された薬については申し送りを徹底している。			
		入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量は薬局からのお薬カードで、すぐに確認できるようにしており、職員が理解できるようにしている。副作用出現時の観察と早期の対応をおこなっている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	勉強会等を行い便秘の原因や及ぼす影響を理解するよう努めており、水分摂取量に配慮すると共に、運動の働きかけを行っている。		便秘予防と筋力維持のため、月・水・金に立ち上がり運動を行っている。また、都度散歩の呼びかけや、風船バレーを行い、運動できるようにしている。				
		勉強会等を行い便秘の原因や及ぼす影響を理解するよう努めており、水分摂取量に配慮すると共に、運動の働きかけを行っている。	○	足腰が痛い方が多く、薬を使用し排便コントロールをしているため、散歩の呼びかけや、風船バレーを行い、運動できるようにしていきたい。				
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後やトイレに向かったときに声掛けを行う等し、口腔内の清潔保持を心がけている。自分できない方には、洗面所に誘導し、それぞれの力に応じた対応をしている。						
		食後やトイレに向かったときに声掛けを行う等し、口腔内の清潔保持を心がけている。自分できない方には、洗面所に誘導し、それぞれの力に応じた対応をしている。						
28 77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取カロリーや栄養バランスは献立表のカロリー等でおおよそ把握しており、食事量や水分量を食事チェック表に記入し、一人ひとりのカルテに1日の摂取量を記入することで把握できるようにしている。食べれないものの把握や、刻みにしたりと、一人ひとりにあった食事の提供を心がけている。			栄養バランスのとれた献立作成やカロリー制限のある方への食事提供など、併設母体施設の栄養士から指導を受けながら支援している。 また、利用者一人ひとりの食事・水分摂取量をカルテに記入のうえ把握し、咀嚼の状態や好みなども把握して栄養管理に努めている。			
		摂取カロリーや栄養バランスは献立表のカロリー等でおおよそ把握しており、食事量や水分量を食事チェック表に記入し、一人ひとりのカルテに1日の摂取量を記入することで把握できるようにしている。食べれないものの把握や、刻みにしたりと、一人ひとりにあった食事の提供を心がけている。	○	水分を摂りたがらない方もいるため、毎日同じ飲み物でなく、いろいろなものを楽しめるように工夫したい。				
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防の対応のマニュアルやガイドラインにそって実行している。						
		インフルエンザやノロウイルス等の感染症マニュアルに基づいて実行している。						
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンの消毒、冷蔵庫内の消毒を定期的に行い、衛生管理に努めている。食材は新鮮なうちに使用している。		キッチンは毎日消毒し、冷蔵庫は毎週土曜日に入っているものを全部だし、消毒を行っている。				
		キッチンの消毒、冷蔵庫内の消毒を定期的に行い、衛生管理に努めている。食材は新鮮なうちに使用している。		キッチンは毎日消毒し、冷蔵庫は毎週土曜日に入っているものを全部だし、消毒を行っている。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1) 居心地のよい環境づくり								
	80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	地域の方たちがいつでも遊びにこれるよう、日ごろより入りやすい雰囲気を作っている。					
	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中、夜間に除菌洗剤やハイターで消毒を行い、清潔を保つ等、不快感を与えないよう配慮している。花を飾る等し、季節感を取り入れて居心地よく過ごせるような工夫をしている。			換気や掃除、定期的な消毒により清潔を保したり、季節感のある小物や手作りのフラワーアレンジメントなどを飾り、利用者が快適に過ごせるよう配慮している。 また、敷地内には花壇や畑、散策路などを整備し、事業所内に池のある庭園をつくるなど、利用者が楽しめるような工夫をしている。	○	洗面所の上に洗剤類を保管し、カーテンで見えないよう配慮しているが、利用者の重度化を見据えたリスクマネジメントの観点から、保管方法について検討してほしい。
	82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、テレビを見ながら自由に過ごせるようにしており、思い思いに過ごせるような居場所作りに努めている。					
	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から持ってきた家具や思い出の写真などをそれぞれ飾り、安心出来る空間となるよう工夫している。		家族より馴染みのある家具や物品等を持ってきていただき、居心地良く過ごせるようにしている。	使い慣れた家具や写真などを持ち込み、畳を敷くなど利用者が落ち着いて過ごせる空間づくりに努めている。 また、居室は和室と洋室のほか、夫婦での利用に対応し2室をつなげた広さの居室もあり、好みに応じて快適な生活環境をつくっている。		
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	オゾン装置があり、換気を適宜行っている。温度計・湿度を確認し都度調節をしている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者が安全に身体機能を活かせるようにベッドに移動バーを取り付けたり、脱衣所に手すりを設置し、安全に自立した生活が送れるように支援している。						
		廊下に手すりがあり、歩行時に掴まりながら歩けるようになっており、安全に自立した生活が送れるように支援している。						
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりのペースを大切にし、日常生活のなかで自分で出来る事は行っていただきながら、自然な形で持てる力を発揮し暮らせるように支援している。		混乱や失敗を防ぐために、分かりやすい言葉でさりげなく援助している。				
		一人ひとりのペースを大切にし、日常生活のなかで自分で出来る事は行っていただきながら、自然な形で持てる力を発揮し暮らせるように支援している。		居室へ食事時間や入浴時間の明示をしたり、掲示板を使用して一日の予定を確認してもらう等おこなっている。				
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園をしたり、様々な花を植えるなどし、入居者が楽しんだり、活動できるようにしている。						
		ベランダにプランターを用意し、花や野菜を育てており、入居者が楽しめるようにしている。						

※ は、重点項目。

項目		自己評価	
		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) ①：1ユニット(鳥海山) ②：2ユニット(日本海)	
V. サービスの成果に関する項目		①	②
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	○
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	○
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	○
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	○
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	○
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	○
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	○
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	○
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	○
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	○
98	職員は、生き活きと働いている	○	○
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

向精神薬の内服を減らし、薬に頼らない生活の支援を行っている。ADLの低下を防ぐため、立ち上がり運動を行う等の取り組みをしている。

入居者一人ひとりのペースに合わせ、ゆっくりとした雰囲気の中で生活できるようにしている。